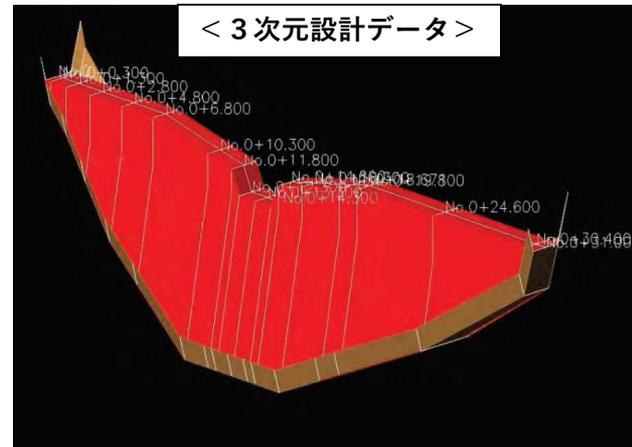
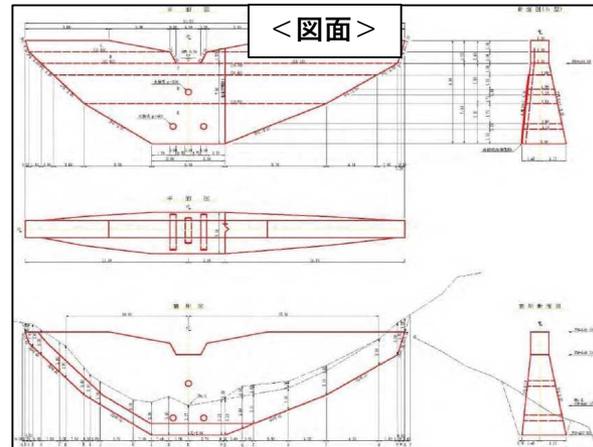


令和3年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（明治建設有限会社）

<デジタル化促進モデル事業の実施内容> 導入機器：自動追尾型TS（杭ナビ）

<参加者> 16名（建設会社：6社14名、県職員：2名）

<工事概要> 工事名：令和3年度 復旧第16号工事名：地藏寺復旧治山工事
請負代金：55,880,000円、工期：令和4年4月1日～令和4年11月10日
谷止工2基 V=646.7m³



プロセス	使用機械等	従来	ICT	効果	評価	施工者のコメント
3次元起工測量	従来通り	4人・日	2人・日	-50%	ワンマン測量で効率アップ	<p>本工事は、ICT活用工事では無いが、自社の技術力でどこまでできるか試験的に実施した。</p> <p>3次元設計データがあれば従来より効率よく施工できることが確認できた。</p> <p>次工事では、ICT活用工事としてICT技術を活用したい。</p>
3次元設計データ	内製化	3人・日 (座標計算等)	3人・日	0%	慣れないソフトであるため、もっと手間取ると思われただけに上々	
ICT施工	従来通り	-	-	-	-	
3次元出来形管理	杭ナビ (今回購入)	2人・日	1人・日	-50%	従来よりスムーズに行うことが出来た。	
合計	-	9人・日	6人・日	-33%	初回にしては上々	

発注者のコメント

起工測量において、今回導入した自動追尾型TSを用いることで作業人数を削減できた。また、3次元設計データを自社で作成し、出来形管理等で使用することで、従来より作業効率が上がった。今後、3次元設計データ作成に慣れていくことで更なる生産性の向上が見込める。